



# 大原台

## 平成25年度 調査研究発表会 (御案内)

期日：平成26年1月31日(金)

時間：9:30～16:40

場所：県総合教育センター  
(大原台講堂 他)

### <全体研究主題>

## 生きる力を豊かに育てる 学校教育の創造

	受付	9:00～
全体会	開会行事	9:30～
	○ 調査研究の概要説明	9:40～
	○ プロジェクト研究の発表	
	○ 研究発表Ⅰ (情報教育研修課)	
	○ 研究発表Ⅱ (特別支援教育研修課)	
	調査報告 (教職研修課)	
	昼食・休憩	12:15～
分科会	○ 研究発表	13:15～
	○ 事例発表	
	○ ワークショップ型研究協議	
	閉会行事	16:35～ 16:40終了



平成24年度の全体会の様子

ワークショップ型授業検討会を通じた授業研究の在り方に関する研究発表、情報教育研修課、特別支援教育研修課による研究発表、教職研修課による調査報告を行います。

また、それぞれの研究発表には、鹿児島大学教育学部の高谷哲也先生、森下孟先生、肥後祥治先生からコメントをいただきます。

第1分科会	第2分科会
国語科	社会・地歴・公民科
第3分科会	第4分科会
算数・数学科	理科
第5分科会	第6分科会
外国語活動、外国語科	情報教育
第7分科会	第8分科会
特別支援教育	教育相談

8つの分科会に分かれて、研究発表、事例発表、ワークショップ型の研究協議を行います。



申込み方法や詳細については、各学校に配布されている案内文書、又はWebサイトを御参照ください。

研究発表、分科会については裏面も御参照ください。

### 調査研究発表会に関する問合せ先

総合教育センター 企画課

TEL 099-294-2312

FAX 099-294-2374

E-mail kikaku@edu.pref.kagoshima.jp



# 平成25年度 調査研究発表会 全体会の研究発表について

## プロジェクト研究

< 研究主題 >

『みんなで取り組み，学び合う授業研究』の進め方

全教職員で取り組む校内研修会についての研究で授業研究サポート事業を行い，授業研究実践校との共同実践を通じた課題解決例や成果について発表します。

## 教職研修課

< 研究主題 >

「教職員のニーズを踏まえた効果的・効率的な研修の構築に関する研究」～フレッシュ研修における学校での指導体制の在り方～

校内研修の充実を図るために，フレッシュ研修を実施している学校の状況や実施上の課題等を把握し，効果的な校内指導体制について報告します。

## 情報教育研修課

< 研究主題 >

「情報活用能力の育成に関する研究」  
～児童生徒のICT活用を通して～

各教科等において学校全体で体系的に取り組む児童生徒の情報活用能力の育成と，教職員によるICT活用指導力向上に向けての実践研究について発表します。

## 特別支援教育研修課

< 研究主題 >

「特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方に関する研究」～知的障害のある児童生徒のpdcaサイクルに基づいた授業づくりを目指して～

知的障害のある児童生徒の「授業づくりの視点」に基づいた授業の評価や改善等を通して，一貫性・系統性のある指導の在り方について発表します。

# 平成25年度 調査研究発表会 分科会の研究主題について

分科会名	教科等	研究主題等
第1分科会	国語科	「学習内容の関連を踏まえた思考力・判断力・表現力の育成に関する研究」 ～「判断基準」に基づく指導と評価を通して～ 教科等における思考力・判断力・表現力の継続的な育成に関して，学習内容の関連を踏まえた「判断基準」の設定による効果的・効率的な指導と評価の工夫について協議します。
第2分科会	社会・地歴・公民科	
第3分科会	算数・数学科	
第4分科会	理科	
第5分科会	外国語活動・外国語科	
第6分科会	情報教育	「情報活用能力の育成に関する研究」 ～児童生徒のICT活用を通して～ 各学校段階における事例発表を通して，児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるためのICTを活用した指導方法等について協議します。
第7分科会	特別支援教育	「特別支援学校における一貫性・系統性のある指導の在り方に関する研究」 ～知的障害のある児童生徒のpdcaサイクルに基づいた授業づくりを目指して～ 知的障害のある児童生徒への一貫性・系統性のある指導について現状と課題を明らかにするとともに，指導の充実を図るための授業づくりの工夫について協議します。
第8分科会	教育相談	「不登校の未然防止と支援の在り方に関する研究」 ～『学校楽しいーと』等を活用した児童生徒への対応～ 不登校の現状や課題及び未然防止の取組について，実態を明らかにするとともに，「学校楽しいーと」等を活用した一貫性・系統性のある指導の充実を図るための方策について協議します。

## 平成26年度長期研修者 募集案内

### 研修期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

### 研修内容

各研修者が教育実践上の課題を解決するために設定した研究主題や研究計画に基づいて進める研修や，教育全般についての研修

### 応募手続

長期研修申込書に所定の事項を記入の上，所属学校長を通じて提出する。

### 応募締切

平成25年12月13日（金）

### 募集対象

- ・小学校，中学校及び特別支援学校  
教職経験7年以上で，ステップアップ研修を修了し，パワーアップ研修に該当しない教員
- ・高等学校  
教職経験4年以上で，ステップアップ研修，及びパワーアップ研修に該当しない教員



平成25年度長期研修中間発表会より

# 鹿児島市立吉田南中学校

平成25年10月18日(金)

## 研究主題

「思考力・判断力・表現力」を育成する学習指導  
～「判断基準」の設定による指導法の改善～

## 公開当日の様子



鹿児島大学高谷准教授による授業づくりについての講演



高らかに響く歌声が印象的だった音楽の授業



自分の考えを意欲的に分かりやすく発表した数学の授業



活発な意見が交わされたワークショップ型の研究協議

# 県立松陽高等学校

平成25年11月6日(水)

## 研究主題

個々の生徒の学力向上と進路実現を目指す授業改善  
～基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る学習指導～

## 公開当日の様子



全体会における研究概要の説明



一人一人が考えを伝え合う英語の授業



真剣なまなざしで作品に向かう美術の授業



分科会のグループ協議で出し合った意見を発表



～日頃の成果を発表～

# 研究提携校研究公開

県立出水養護学校研究公開  
平成26年2月14日(金)開催  
(予定)

# 鹿児島市立山下小学校

平成25年11月8日(金)

## 研究主題

自ら考え判断し、表現できる子どもを育てる  
学習指導の開発

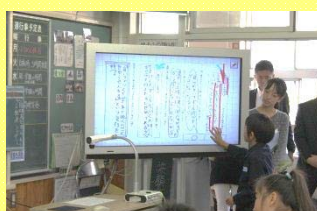
## 公開当日の様子



明治大学諸富教授による安心できる学級づくりについての講演



先生方も笑顔でアイスブレイク(諸富先生の講演)



自分の考えを電子黒板で分かりやすく伝える児童



考えたことを自信をもって表現する児童

# 奄美市立宇宿小学校

中間発表会 平成25年11月12日(火)

## 研究主題

学年別における複式国語科学習指導の充実  
～「書くこと」の指導を通して～

## 公開当日の様子



多くの参加者のもとに開かれた全体会



レポートについて調べたことを発表する3年生



伝えたいことのよりよい伝え方を考える4年生



授業の終末で学んだことを互いに発表

## 心の声が届いています 「かごしま教育ホットライン24」

かごしま教育ホットラインは、24時間対応で相談を受け付けています。

### 気付いていますか？子どもからのメッセージ

ほとんどの相談者は、自分の思いを周りの人になかなか分かってもらえないことへの苦しみを抱えています。教師から見て「気になる子ども」は「問題のある子ども」ではなく、むしろ「教師からの関わりを必要としている子ども」です。子どもたちが起こす「問題」は、ほんのちょっぴり屈折した「教師へのメッセージ」であるとの見方をすることも大切です。休み時間や給食時間での語り、掃除時間での声掛けなど、日頃から機会を捉えて直接、教師と児童生徒が対話をして、児童生徒理解に努めることが重要です。

当教育センターのWebページの「教育相談」から「かごしま教育ホットライン24」の案内ページへお進みください。



## 広がっています 「学校楽しいーと」

「学校楽しいーと」は、子どもの学校適応感を客観的に把握することができる質問紙のことです。

「学校楽しいーと」を活用する学校が増えてきています。今年度、「生徒指導力向上プログラム」の講座や校内研修会等で、たくさんの先生方の御意見を伺いました。

本当にびっくりするほど子どもの様子が現われていました。複数回実施する予定です。  
(小学校教諭)

「学校楽しいーと」のデータを基に職員研修で共通理解することで、他の先生方から様々なヒントを得ることができました。  
(小学校教諭)

「学校楽しいーと」は、子どもたち一人一人の現状をはっきりとつかめるので指導に生かしやすいです。  
(中学校教諭)



課題を抱えて来室する生徒の対応に迷っていましたが、「学校楽しいーと」の実施後、その生徒の課題について他の先生方と話をすることが多くなり、共通理解の大切さを感じました。  
(高等学校養護教諭)

今年度初めて実施してみると、日頃気付いていない生徒のよさに気付くことができました。  
(高等学校教諭)

当教育センターのWebページから、右の「学校楽しいーと」の画面へ進みますとダウンロードできます。



入れ替わった先頭は、勝てないから学校に行きたくないと言っていたサッカー仲間のT君である。  
ビデオは、最後まで走ることが大事と送り出した両親との約束を胸に駆け抜けるT君の「何で？」という複雑な表情を見逃さなかった。その時、バトンを拾って画面の端っから猛追するY君の姿を捉えた。その勢いは、最後まで諦めない気迫に満ちていた。突然の出来事に狼狽せず走りきった思い出は、清々しくもあり、Y君T君達の、未来に繋がる貴重な財産となるに違いない。  
その夜、Y君は言った「爺いじ、一生懸命に順番はななんだよ。」と。礼記に、「玉琢かざれば器と成らず。」とある。小さな命が、自ら学び磨き上げる力に初めて触れる時、そこに発揮されるのがプロの力であらう。  
日々の教育実践がY君の言葉に重なるのである。  
新しい年も、子ども達に寄り添う誰もがプロであってほしいと願わずにいられない。



「未来に繋がる紅白リレー」

次長 大久保 剛

教育センターの木々も紅葉し、研究提携校の公開の余韻を感じながら、一年を顧みる年の瀬を迎えようとしている。楽しみは、些細な出来事の中に感じる小さな命の成長である。

舞台は小学校の運動会、Y君は今年入学した元気な男の子である。全校児童のキビキビした動きでプログラムは滞ることを知らず、最後の紅白リレーを迎えて、会場の雰囲気は最高潮に達した。選手入場に合わせて、巧みな放送がいやが上にも緊張を煽り、「用意。」の声に、ビデオを握る手元も汗ばむのである。

パーン！スターターの合図に飛び出す一年生、紅潮した顔には、真一文字に結んだ口元がキラリと勇ましい。第一コーナー手前スワッシュと飛び出したのは件のY君。「フワッ。」とばかりに大歓声が選手を包み込む。クライマックスにシナリオはない。次の瞬間、白いバトンが宙に舞い、Y君の姿が消えた画面には、焦点の定まらない画像が残る。